

2020年9月7日

一般社団法人 新潟県経営者協会
会長 並木 富士雄 様

新潟県高等学校教職員組合
執行委員長 吉田 裕史



高校生の雇用の確保に関する要請書

日頃より本県高校教育の発展にお力添えをいただいていることに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染が依然として予断を許さない状況が続いており、国民生活のあらゆる面に大きな影響を与えています。学校現場におきましても、前例のない長期休業後の学校再開の中で子どもたちの学びの保障に腐心するところです。

社会・経済活動が大きく制約され、景気や雇用情勢の先行きも不透明となる中で、就職を希望する高校生も大きな不安を抱えています。就職選考試験の開始日が1月後送りされたとはいえ、学校における就職指導期間が実質的に短縮され、職場見学や企業説明会等の情報収集の機会が減少し、志望企業の決定にも影響が出ています。

加えて、今年1月に高卒求人票が改定され、従来、求人票から得られた情報欄の一部が削除されたことも、企業情報の収集に影響を与えています。

平成不況時に就職難に直面させられた世代が後に「就職氷河期世代」と呼ばれましたが、諸々のハンディキャップを抱えて就職を志す高校生が後に「コロナ世代」と呼ばれることがないよう、私たちは高校生の就職希望実現に最大限の支援をしていかなければならないと考えています。

若者を中心とした人口減少に喘ぐ本県におきましても、高校生の多くが県内での就労を実現することは県勢回復の必要条件でもあります。

つきましては、10月16日からの高校生採用選考開始に向け、厚労省・新潟労働局と連携をとり、公正な選考と就職希望者の雇用の十分な確保に向けて、格段のご配慮・ご協力を賜りたく、下記の点について要請いたします。

記

1. 統一応募用紙の趣旨を踏まえ、公正採用選考をすすめること。
2. 本人の意欲・適性等を前向きに判断し、一人でも多くの就職希望者の雇用を確保すること。
3. キャリア教育の推進のため、職業体験や企業理解を深めるインターンシップや企業見学などへのご支援・ご協力をいただきたいこと。

以上